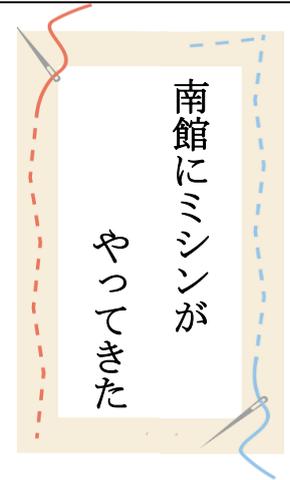


藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。



生活介護藍（南館）では、ビーズを使って作るラップブレスレットや、デコ石けん、祝箸や、クルミボタン、ビーズゴムなど様々な授産製品を利用者さんと一緒に作成し、地域で定期的に行われるバザーや、月に1度の事業所前での販売活動を通して販売させてもらっています。これまでたくさんの方に授産品を購入して頂いてます。毎回販売会に来て下さる方もいて「新しい物はないの?」と言った声を聴くこともあります。

新商品作りは、ハンドメイド製品作りが得意なスタッフが中心となり新しい製品の提案をしてくれています。この間はとても素敵な糸糸で編んだコースターも出来ました。販売活動でもとても好評だったことで、利用者さんもスタッフもさらに新しい製品作りへの意欲が湧いてきました。ある日授産製品作りについてみ



んなで話し合っているとミシンがあればもっと色々な製品ができるのでは?との意見があまり家庭用ミシンを購入することにしました。なんと、南館にミシンがやってきたのです。



いやすく、また小物入れや学校の給食袋など様々なシーンで幅広くお使い頂けるかと思えます。他にも色々な柄の巾着や雑巾があります。お求めの際はお気軽にスタッフまで申し付けください。

生活介護藍（南館）

お出かけ写真📷

全国学生相撲選手権（堺）



東住吉高等学校文化祭



大阪市立自然史博物館

ネコ展



生活介護藍（本館）

新たな部員が加わりの

生活介護藍（本館）では7月27日にリコーダー部の演奏会がありました。リコーダー部の演奏会は、一年ぶりの活動となります。メンバーは現在、本館のスタッフ5人で構成されています。そのうち2人は今年入部したメンバーで2人も男性スタッフです。男性が増えることによって、去年とは違った魅力が出せたのではと思います。リコーダー部員は、リコーダーに触れるのは中学生以来というメンバーがほとんどです。ドレミも忘れていた状態でゼロからのスタートというメンバーもいます。空いた時間にリコーダーの練習したり、利用者さんに練習中の曲を聞いてもらったりもして、上手に演奏できるように取り組みました。演奏する曲は、利用者さんたちが楽しめるような曲を考え決めていきますが、去年演奏し

た曲をベースに今年は新しい曲を取り入れ、12曲の演奏をする事が決まりました。「7月はリコーダーのコンサートやなあ！」と前から声をかけてくれたり、楽しみにしてくれている利用者さんもいて、いざコンサートが始まると、「ワー！」と歓声が鳴りやみませんでした。オープニングから手拍子やリコーダーに合わせて歌ってくれたり大盛り上がりで、コンサートが進むにつれマルモリやきよしのズンドコ節では利用者さんたちもノリノリで、前に出て男性メンバーと一緒に踊ってくれました。スタッフの真似をして踊る利用者さんや、自己流に踊る利用者さんなど、みんな笑顔で盛り上がりました。最後にはリコーダー部恒例の部員の呼び込み。スーパードンなどでよく聞く呼び込み君という曲に合わせて「いらっしやいませ〜いらっしやいませ〜」と言いながらメンバーを募集するのですが、みんな

が大笑いし会場が湧いていました。最後はアンコールもあり、利用者さんからリクエストがあがった曲から2曲を演奏し、大盛り上がりがありました。コンサートが終わると、「楽しかった！」「おもしろかった！」「またやってね」などの声上がり、来年に向けて準備していきたいと思えます。



左からこうくん・ゆうちゅん・はーちゃん・めぐちゃん・まーくんです

日本の夏

くれよんの夏

毎年くれよんの夏の記事と
言えば夏祭りについてお伝え
することが多かったですが、
今回は夏祭りに加え、色々な
企画について紹介させて頂き
ます。

スタンプラリーへGO

電車に乗り決まった駅に置
いてあるスタンプラリーを集
めて回りました。今年は映画
クレヨンしんちゃんがテーマ
で、無事に景品をもらえてホ
ッとした様子が見られまし
た。



下水道科学館

お水がどのようにして自分
たちの生活の中にあるのかを
館内のスタンプラリーやゲー
ムコーナーを通して学びまし
た。夢中になって体を動かす
場面も見られました！



明治なるほど

ファクトリー関西

乳製品を取り扱う工場の見
学に行きました。普段から家
庭や学校で口になっている牛乳

や、ヨーグルトがどうやって
作られているのか、スタッフ
も一緒になって「へえ〜！」と
声にだしながら見ていまし
た。最後はお土産も貰えてよ
り身近なものとして感じられ
たようです。



〜おやつ作り〜

夏休みはいつもよりも過ご
す時間が長いため、せっかくだ
からみんなでおやつを作っ
てみよう！ということにな
り、ゼリー作りではジェリー
ビーンズやラムネ、フルーツ
を好きなように容器に入れて
いき、カラフルで夏らしいゼ
リーが出来ていました。別の
日には餃子の皮にコーンやチ
ーズ、ツナ等の具材を乗せた

ミニピザも作りました。数人
のグループに分かれて作るた
め、どの具材をどのぐらい使
うのかを自分なりに考えた
り、誰かと相談をする練習に
もなったようです。



〜夕食作り〜

今年は初めての夕食作りに
挑戦してみました。お好み焼
きと、また別の日にはカレー
を作りました。おやつ作りで



は使用する食材や分量はあら
かじめ決まっていたのですが、夕
食となるとお腹いっぱい食べ
ることを前提に作るため、グル
ープに分かれて各々の食べ物
の好き嫌いを確認し合いなが
ら「何を入れる?」「どれぐらい
買う?」と相談から始まり、買
い出しと下準備に別れて役割
を決めて作りました。グループ
それぞれで味も見た目も違う
カレーとお好み焼きが出来て
いましたよ。



制作活動いろいろ

○暑中お見舞い作り

毎年恒例になりつつある暑
中お見舞い。今年も生活介護の
利用者さんに作ってもらった

手作りはがきで、思い思いのメッセージや絵を描いて送りました。

○ランプシェード作り



大阪環境カウンセラー協会の方々に来てもらい、和紙や折り紙を利用したエコで優しい光のランプシェードを作りました。それぞれ配られた折り紙の柄が違った為、お友達やスタッフと相談しながら交換する様子も見られ、制作



中はみんな真剣な表情で集中して取り組んでいました。製作の後は、地球の環境問題についても勉強しました。

楽しい夏祭り

夏休みを締めくくるのやはり夏祭り！今年もみんなで協力して準備を行い、いろいろなゲームコーナーや、おやつでお祭り感満載の一週間を迎えることが出来ました。当日、お店当番になった子どもたち



はどんなルールにするかを話し合い、実際にシミュレーションを重ねてお客さんを迎える準備をしています。お客さんとして過ごす子どもたちは、各店舗に並んでいる景品を見て「わあ〜こつれが欲しい！」と言って、ゲームに挑戦する姿がとっても楽しそうでした。Instagramにもたくさん写真を掲載しています。



ヘルパー日誌

（食）

ヘルパーの仕事に掃除や買い物といった家事全般を支援する家事援助という制度があります。今までも掃除の支援依頼を受けたことはあったのですが、今回初めて夕食作りへの支援に携わることになったんです。皆さんは夕食の献立を考えるにあたって何を重要視されていますか？私は支援に入る前にこのことについてかなり悩みました。自分だけが食べるのであれば何でも良いと思いますが、相手に食べてもらうとなれば全く異なります。好き嫌いや味付けの好み、硬さや量の調整、予算や使える調理器具の種類、かけられる時間までも考える必要があります。それに自分の力量を加えると頭がパニックです。これは本気（まじ）でやばい。障がいがある方の中には物事への興味、関心が拡がり

にくい方もいます。なので『食』に楽しみをもっている方にとって食事はとても大切な時間になるのではと思っています。食事作りを通して満足を得てもらい、その方の生活の質を高められる支援につながるかと考えてしまうから悩みます。でも、悩んでいるだけでは何も変わらないので、食事作りを支援するにあたって本人、ご家族から色々話を聞かせてもらうことから始めました。その後はひたすらYouTubeを見て、なんとか献立を決めることができるかと思いきや、先のスプーンに欲しいものが揃っているかを事前に下見してこまめでは順調。支援当日、カタン、カタンと音が鳴る自転車をこいで利用者宅に到着。訪問してすぐにキッチンに立つ。不思議と緊張はない。目の前には食材、包丁、まな板。準備は整った。

『さあ調理開始だ』